

アムール石油精製工場の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	パイプライン（ESPOの支線）で中国との国境付近まで輸送したロシア産原油を製油所で精製し中国に供給する。 アムール州イヴァノフ地区ベレゾフカに処理能力1,500万t/年の石油精製施設を建設する。
実施期間	2011～2016年
総事業費（100万ルーブル）	10,500（3.5億ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	OOO「アムールエネルギー会社」（ロシアのインテルルスオイル社60%、中国のシリウス社40%）
プロジェクトの進捗状況	設計・準備作業中。建設予定地の選定を終えたところであり、本格的な設計作業に入る（2010年7月現在）。
政府/地方自治体による支援	アムール州行政府がプロジェクトを支援 極東・ザバイカル社会経済発展プログラムの後継プログラムに盛り込む予定
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	ボゴメロフ・ヴィクトル・イギアチエビチ 社長
住所	675000. г. Благовещенск, ул. Комсомольская, 30 «Б»
Tel	(4162) 55-80-22
e-mail	Bgmlv.viktr@rambler.ru
追加情報	
<p>○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件</p> <p>○建設は2つの段階からなる。第1フェーズは精製能力500万tの製油所を建設する。原油はESPO-1の最終地点・スコヴォロヂノから鉄道（距離はおよそ620km）で供給する（ESPO-2の実現する前のため）。第2フェーズは精製能力を1,500万t/年に拡大する。と同時にESPO-2から製油所まで約620kmのパイプラインを建設する。第2フェーズ終了時点で、1,500万t/年の原油をパイプラインで製油所に供給する。</p> <p>○ガソリン、灯油、重油などの石油製品を生産し、製品の大半を中国に供給する。供給方法は、ベレゾフスクから黒河（ブラゴヴェシエンスクの対岸）にパイプラインを建設し、輸出する。ベレゾフスク・黒河を結ぶパイプラインの全長は63.9km。うちベレゾフスク・アムール河沿岸が52.9km、アムール河底3km、中国国境・シャントルン村8km。</p> <p>○中国は黒河に石油化学コンビナート建設を計画しており、製油所で生産された石油製品を原料に石油化学製品を生産する。</p> <p>○本プロジェクトは当初、1990年代に計画された。しかし、その後凍結され、昨年末のロ中合意を受けて、再び動き出した。</p>	
コメント	
○ロシア側は日本との協力を期待するものの、中国との間で動き出している案件であり、日本企業が参加する余地は少ない。一方、技術協力や設備供給といった面でのビジネスはあり得るかもしれない。	

鉄鉱石鉱床開発、採鉱・選鉱コンビナート建設、鉄鋼会社設立

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	ガリンスク鉄鉱石鉱床を開発する。 マザノフスク地区に採鉱・選鉱コンビナートを建設する。 鉄鋼コンビナートを設立する。 鉄鉱石：1,000万t／年 精製残留物：725万t／年 還元鉄：100万／年
実施期間	2011～2017年（2025年まで）
総事業費（100万ルーブル）	11,300（3.76億ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	ZAO「ペトロパヴロフスク」
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	ロシア連邦投資委員会の支援 輸送インフラ建設への財政的支援
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	675000, г. Благовещенск, ул. Ленина 140/1
Tel	(4162) 39-44-03
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対シアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	
コメント	
○民間案件であり、ロシアが単独もしくは外資と協力して進める案件の1つ	

オゴドジンスキー炭田の露天掘り採掘場の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	セレムジンスキー地区のオゴドジンスキー石炭鉱床に露天掘り採掘場を建設する。 採掘量は5,000 t / 年
実施期間	2016～2025年
総事業費（100万ルーブル）	84,000（2.8億ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	アムール州行政府
プロジェクトの進捗状況	投資家を募集中
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	675023 г. Благовещенск, ул. Ленина, 135
Tel	(4162) 232-106
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	
コメント	
○ロシアの採炭会社がまず開発権を獲得し、開発を行うべき案件であり、外資参入云々はその後の話	

アムール州

資源（銅、ニッケル）

クン・マニエ銅・ニッケル鉱床の開発

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	ゼイスキー地区のクン・マニエ銅・ニッケル鉱床を開発する。 採掘量は400万 t/年
実施期間	2015～2019年
総事業費（100万ルーブル）	10,300（3.43億ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	ZAO「クン・マニエ」
プロジェクトの進捗状況	地質調査中
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	г. Благовещенск, Островского 38
Tel	(4162) 44-15-13
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	

セメント工場の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	チャゴヤンスコエ石灰石鉱床を基盤とするセメント工場を建設する。 工場の予定場所はシマノフスキー地区チャゴヤン村 生産量は160万 t / 年
実施期間	2010～2012年
総事業費（100万ルーブル）	9,600（3.2億ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	ZAO「BERILL DELITA」
プロジェクトの進捗状況	F/S調査終了
政府/地方自治体による支援	アムール州行政府と協定締結
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	127422, Москва, Тимирязевская ул., д1 стр. 2
Tel	(495) 611-71-51、611-72-20（モスクワ）
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	

アムール州

工業（木材・木材加工）

木材加工工場の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	トゥインダ地区のOAOトゥンダレスを基盤に最新型の木材加工工場を建設する。 化粧板、ベニヤ板、挽材を生産する。
実施期間	2010～2012年
総事業費（100万ルーブル）	2,100（7,700億ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	OAO「トゥンダレス」
プロジェクトの進捗状況	投資提案を募集中 投資パートナーを募集中
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	676282, г.Тында, ул. Профсоюзная 7
Tel	(41656) 4-74-73、59-004, 4-29-00
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対しアムール州政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	

木材加工工場の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	化粧板、ベニヤ板を生産する木材加工工場を建設する。
実施期間	2008～2014年
総事業費（100万ルーブル）	1,200（5,000万ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	ООО「Mostotrad-T」
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	木材・木材加工分野の優先プロジェクト
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	676850, г. Белогорск ул Кирова, 279Б
Tel	(41641) 22 7 58
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対シアムール州政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	

ニジネ・ブレイスク水力発電所の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	ブレイスク地区にニジネ・ブレイスク水力発電所を建設する。 定格出力320MWT
実施期間	2011～2016年
総事業費（100万ルーブル）	26,200（8.73億ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	ОАО「ルス・ギドロ」
プロジェクトの進捗状況	国家審査中
政府/地方自治体による支援	インフラ施設への財政的支援
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	117393, Москва, ул. Архитектора Власова, д. 51
Tel	(495) 225-32-32（モスクワ）
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	

ニジネ・ゼイスク水力発電所の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	マザノフスキー地区にニジネ・ゼイスク水力発電所を建設する。 定格出力400MWT
実施期間	2013～2019年
総事業費（100万ルーブル）	29,000（9,700万ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	OAO「ルス・ギドロ」
プロジェクトの進捗状況	設計・準備中
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	117393, Москва, ул. Архитектора Власова, д. 51
Tel	(495) 225-32-32（モスクワ）
e-mail	
追加情報	
○ROTOBOの照会に対しアムール州行政政府から回答のあった日本企業との協力希望案件	

ブラゴヴェシエンスク熱併給発電所第2フェーズの建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	ブラゴヴェシエンスク熱併給発電所第2フェーズを建設する。 定格出力110MWT
実施期間	2010～2012年
総事業費（100万ルーブル）	4,000（1.33億ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	4,000（うち連邦2,200、民間1,800） 2008： - 2009： - 2010： 400（民間400） 2011～2013： 3,600（連邦2,200、民間1,400）
推進会社・団体（事業主体）	OAO「DVEUK」（極東電力会社）
プロジェクトの進捗状況	設計・事業規模見直し中
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	680000, г. Хабаровск, ул Фрунзе, 49
Tel	(4212) 30-49-14, 21-30-87（ハバロフスク）
e-mail	
追加情報	
<p>○2013年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラムに規定されるプロジェクトの1つ</p> <p>○ROTOBOの照会に対シアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件</p>	

エルコヴェツカヤ火力発電所の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	オクチャブリスキー地区にエルコヴェツカヤ火力発電所を建設する。 定格出力1,200～2,400MWT
実施期間	2015～2017年
総事業費（100万ルーブル）	21,500（7,200万ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	OAO「INTER RAO EES」（インター・ラオ・エース）
プロジェクトの進捗状況	投資根拠策定
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	17630, Москва, Краснопресненская набережная 12, подъезд 7
Tel	(495) 967-05-27, 967-05-26（モスクワ）
e-mail	
追加情報	
<p>○2018年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラムに盛り込む予定</p> <p>○ROTOBOの照会に対シアムール州政府から回答のあった日本企業との協力希望案件</p>	

農業分野の協力計画

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	農産物の生産と加工
実施期間	未定
総事業費（100万ルーブル）	未定
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	アムール州行政府
プロジェクトの進捗状況	投資提案を受付中 投資パートナーを募集中
政府/地方自治体による支援	アムール州行政府の優先政策
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	675023, г. Благовещенск, ул. Ленина , 135
Tel	(4162) 232-100, 37-39-36
e-mail	
追加情報	
<p>○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件</p> <p>○アムール州の農地はおよそ130万haで、うち農耕地が76万ha、休耕地が50万haである。</p> <p>○2009年の穀物の収穫高は33.8万tで、うち小麦が20.7万t。大豆が41.2万tである。</p> <p>○2010年の収穫量（予測）は穀物が37.4万t（うち小麦が17万t）、大豆が54.9万tである。</p> <p>○穀物は主に小麦、ライ麦、カラス麦を生産している。</p> <p>○穀物、大豆、野菜などの農産物の大半は州内および近隣の自治体に供給している。中国への輸出は少ない。</p>	
コメント	
○ロシア側（アムール州行政府）は日本との共同生産を強く希望	

カオリン鉱床の開発

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	チャルガノフスコエ鉱床を総合的に開発し、アルミナ、シリカ、アルミニウム、ケイ素を採掘する。
実施期間	未定
総事業費 (100万ルーブル)	1,500 (5,000万ドル)
うち今後必要な投資額 (100万ルーブル)	
推進会社・団体 (事業主体)	ロシア科学アカデミー極東支部地質・自然利用研究所 アムール科学センター
プロジェクトの進捗状況	投資提案を受付中
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先 (組織・氏名)	
住所	675000, г.Благовещенск, пер Релочный, 1
Tel	(4162) 22-53-00,52-23-36
e-mail	
追加情報	
<p>○アムール州行政府支援のイノベーションプロジェクトの1つ</p> <p>○ROTOBOの照会に対しアムール州行政府から回答のあった日本企業との協力希望案件</p>	

ゼイスク水力発電所・アムール州国境間の送電網整備

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	ゼイスク水力発電所～アムール州国境間の送電網を整備する。 500MW
実施期間	2008～2013年
総事業費（100万ルーブル）	8,200（2.7億ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	8,200（2.7億ドル）（うち連邦7,700、民間500） 2008： - 2009： - 2010： 500（民間500） 2011～2013： 7,700（連邦7,700）
推進会社・団体（事業主体）	民間
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名） 住所 Tel e-mail	
追加情報	
○2013年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラムに規定されるプロジェクトの1つ ○アムール州行政府支援のイノベーションプロジェクトの1つ	
コメント	
○民間主導案件であり、関心のある企業は電力会社にコンタクトをとるべき	

送電網の整備

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	ブラゴヴェシエンスカヤ～タムボフカ～ヴァルヴァロフカ間の送電網の整備と変電所「タムボフカ」の設置
実施期間	2008～2013年
総事業費（100万ルーブル）	1,405（4,683万ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	1,405（4,683万ドル）（うち連邦1,075、民間330） 2008： 10（民間10） 2009： 10（民間10） 2010： 310（民間310） 2011～2013： 1,075（連邦1,075）
推進会社・団体（事業主体）	民間
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名） 住所 Tel e-mail	
追加情報	
○2013年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラムに規定されるプロジェクトの1つ	
コメント	
○民間主導案件であり、関心のある企業は電力会社にコンタクトをとるべき	

連邦道チタ～ハバロフスク線への各種アクセス路の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	連邦道チタ～ハバロフスク線への各種アクセス路14線を建設する。 総距離：65.4km
実施期間	2008～2013年
総事業費（100万ルーブル）	3,218.5（1.1億ドル）
うち今後必要な投資額 （100万ルーブル）	3,218.5（1.1億ドル）（うち連邦2,955.3、地方263.2） 2008： 143.6（連邦123.5、地方20.1） 2009： 247.6（連邦217.8、地方29.8） 2010： 1,062.4（連邦1,020、地方42.4） 2011～2013： 1,764.9（連邦1,594、地方170.9）
推進会社・団体（事業主体）	アムール州行政府
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名） 住所 Tel e-mail	
追加情報	
○2013年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラムに規定されるプロジェクトの1つ	
コメント	
○地方の公共事業であり、関心のある企業は州行政府にコンタクトをとるべき	

連邦道チタ～ハバロフスク線とブラゴヴェシエンスク間のアクセス路の建設

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	連邦道チタ～ハバロフスク線とブラゴヴェシエンスク間のアクセス路とゼイ川橋梁を建設する。 総距離：11.5km 橋梁区間：3,500m
実施期間	2008～2013年
総事業費（100万ルーブル）	8,000（2.7億ドル）
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	8,000（2.7億ドル）（うち連邦7,000、地方1,000） 2008： - 2009： 200（地方200） 2010： 200（地方200） 2011～2013： 7,600（連邦7,000、地方600）
推進会社・団体（事業主体）	アムール州行政府
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名） 住所 Tel e-mail	
追加情報	
○2013年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラムに規定されるプロジェクトの1つ	
コメント	
○地方の公共事業であり、関心のある企業は州行政府にコンタクトをとるべき	

農業機械の生産

プロジェクトの概要	
プロジェクトの内容	アムール州で農業機械を生産する。
実施期間	
総事業費（100万ルーブル）	
うち今後必要な投資額（100万ルーブル）	
推進会社・団体（事業主体）	国営公団「ロシア機械製造統一」アムール支社
プロジェクトの進捗状況	
政府/地方自治体による支援	アムール州行政府から1億ルーブルの政府保証あり
コンタクト先	
連絡先（組織・氏名）	
住所	
Tel	
e-mail	
追加情報	
<p>○2010年3月、ロシア産業貿易省から日本側に提案された協力案件22件の1つ</p> <p>○アムール州内で、ベラルーシの機械メーカー「ベルアズ」と中国メーカーが農業機械の組み立てを行っている。部品は外国製であってもロシア国内で組み立て（半分組み立てでもOK）を行えばロシア製と同様に、農業機械の購入に際して、農業企業に国営銀行から優遇融資を与えている。またこれとは別に、アムール州行政府では、農業機械を購入する農業企業に補助金を支給している。輸入機械に対しては補助金や支援は一切ない。</p> <p>○アムール州側は日本企業の農業機械生産を希望する。完成品を輸入するよりも、部品を輸入しロシア国内で組み立てたほうがメリットがあり、そうした形での協力を希望する。</p>	
コメント	
<p>○ロシア側は農業生産と並んで、農業機械の共同生産を強く希望しており、日本側が真剣に検討すべきプロジェクトである。</p> <p>○現地生産はロシア農機市場進出の上で避けて通ることはできず、その候補地の1つとして、農業県・アムール州は検討に値する。</p>	